

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふあみリーステーション・クレール		
○保護者評価実施期間		令和 6年12月 1日	～ 令和 6年12月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間		令和 7年 11月 15日	～ 令和 7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○プログラムのバリエーション	○担当制による職員間の連携やミーティングによる情報共有を始業時及び終業時に実施することで、プログラムの多様性を検討している。	○療育に関する情報収集 ○関係機関（医療や保育）との連携強化 ○レクリエーション技術の研修参加の促進
2	○不登校児童への支援	○市担当者との情報共有関係の構築 ○学校関係者との定期的な情報共有や対策検討の場を設定している。 ○スクールソーシャルワーカー経験者による援助技術の展開	○学校関係者との連携強化 ○当該児童に対する支援プログラムの強化

3	<ul style="list-style-type: none"> ○家族支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な家族との面談 ○療育後の家族との情報共有の場の機会確保 ○ペアレントトレーニングの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用家族同士の情報交換や交流の場の設定 ○家族への情報提供の場となる定例会の開催
---	---	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	空間の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ○物品の配置の適正化が必要 ○整理整頓が追いつかない 	<ul style="list-style-type: none"> ○収納設備の定期的な見直し ○備品やレクリエーション設備の整理整頓の徹底
2	近隣事業所の児童との交流機会	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所間交流の機会が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度からの交流機会の確保のため、連携事業所と検討している
3	保護者間の交流機会が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者のニーズ及び負担感の把握が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者と個別でニーズを把握し、交流や情報交換の在り方を検討して実施につなげる。